

市内二十五カ所で敬老会

いつまでももお元気で

九月七日から十六日の間、市内二十五の会場で敬老会が開かれました。ことしの敬老会参加者は七十二歳以上で、対象者は一万千八百五十六人。このうち、九月十一日、東部市民プラザで開かれた今泉地区の敬老会には、百八十畳の大広間にぎっしりの約四百人が参加しました。

鈴木市長が「生きがいと友人を持ち長生きしてください」とあいさつした後、敬老祝金や米寿の肖像画などが贈られました。



△会場は超満員

▽米寿の肖像画とともにハイポーズ



▽ボランティアがおもちの準備も



ラ・ホール富士で パソコンなどの教室を開催



△受講生は全員女性

六月にオープンした富士勤労者総合福祉センター「ラ・ホール富士」で、九月から、ワープロ・パソコン・エアロビクスの各教室がスタートしました。

九月四日から始まったパソコン教室には、約五倍の申し込みから抽選で選ばれた八人が参加。ほとんどの人が初めて操作するとあって、緊張ぎみに講師の話聞いていました。

美しい富士山の写真が五百点

市民による審査も

時に優しく、時に厳しく私たちを包み励ましてくれる富士山。富士山は四季や天候、場所によつてさまざまな姿を私たちに見せてくれます。そんなすばらしい富士山の写真五百点を一堂に集めた写真展が、九月八日～十六日、新富士駅のステーションプラザFUJUIで行われました。

これはNHK静岡放送局と市が主催したもので、市民五百人による展示審査も行われ、訪れた人々は皆、美しさに引き込まれるように鑑賞していました。



△富士山の美しさを改めて感じました

個人参加の公共施設見学を開催

学びました 税金の使い道

▽田子の浦港を一望する「富士と港の見える公園」



▽昔の見付がしのばれます



△青いバナナにおいては...



九月十八日・十九日、個人を対象にした公共施設見学が行われました。十八日は「市場のセリを見るコース」、十九日は「ちよつと思いやりコース」という目的別のコースで開かれ、二日間で約四十人の皆さんが参加しました。初日の十八日は、公設卸売市場で、威勢のよいかげ声や、見なれない指やりの競りを見るなど独特な雰囲気を楽しんだ後、富士と港の見える公園や西部浄化センターを訪れました。

▽「凍ってしまうよ～」大型冷蔵庫も体験



▷「さあいくら、さあ……」と大きな声が飛び交います

